

# 令和5年度 学校経営構想

## 学校教育目標

### 『自ら考え行動する子どもの育成』

●かしこく…学びを拓く子ども ●やさしく…自他や物事を大切にする子ども ●たくましく…健康的に暮らし増進を図る子ども

### 研究主題 『夢や願いに向かって 自らの学びを切り拓く子ども』

～子ども主体の「楽しいらしづくり」を足場に据えて～

#### 【めざす子どもの姿】

本気で課題に関わり 自分事として価値あるものを求め 見方・考え方を働かせて解決しようとする子ども

#### 【支援の基本】

「主体的」「協働的」「自立的」な学びにより「思考力・判断力・表現力 等」を向上させ

全ての活動に生きる「実践力」の育成を図る。

## 経営の重点

### 1 「子ども主体の学び」の創造

- ・教育活動全体で「実践力」の育成をめざすという方針をカリキュラムマネジメントに反映させ、校内研究を中核にして、各教科の授業づくりおよび特別活動における効果的な支援を構想する。
- ・「主体的」「協働的」「自立的」な学び（個別最適な学び）の場を意図的・計画的に設定する授業づくりを行う。
- ・「子ども主体の学び」を創造するために、日常的に深い児童理解に取り組む。

### 2 楽しいらしづくりを土台とした育ち・学びの推進

- ・4大行事における「めざす子どもの姿」と「支援の方向性」を職員で共通理解のうえ支援にあたることで、自分事として活動に取り組む自主性、ねらいを持って友達や他者と協働したりかかわったりすることができる力、ふりかえりをその後の活動に活かそうとする態度を身につけさせていく。
- ・課題解決や目標達成にむけての活動を保障し、価値ある学びや活動を支援していく中で、個人として、そして集団の一員としての自己存在感、自己有用感を味わわせる。
- ・「楽しいらしづくり」の根幹をなす、「あたりまえ」を意識した生活の徹底を支援する。

### 3 課題意識とOJTでチーム力向上

- ・「職員会議」以外に定例会議を設定せず、各担当が課題意識と見通しを持ち「この内容をこのメンバーで検討したい」旨を、メンバー、教頭・教務主任にはかり、話し合いの場を設定する。
- ・「めざす子どもの姿」と「支援の方向性」の共通理解とともに、「具体的な手立て」についての交流・検証を行いチームとしての力を高める。

### 4 地域と共に歩む教育活動

- ・学校教育目標や学校課題を保護者・地域と共有し連携するため、情報を積極的に発信する。
- ・地域に根ざした「産業」「文化」「歴史」等に直にふれ、本物を体感する学びを通して、「上郷地区」そして「米沢」が大好きな子どもを増やす。